

★ 都内章の機成 書類選考通過団体（投票用紙に番号又は団体名を記入）

助成申請団体・申請事業の概要等

番号	団体名	申請額 (万円)	事業名と事業概要 (応募用紙から)
都1	メンタルケア協会・東京「ほっ！と相談」第2実行委員会	26.4	<p>●事業名：ほっ！と相談</p> <p>活動：「ほっ！と相談」は対面による無料の相談会です。専門的な知識を持つ精神対話士が、温かな対話と傾聴を通して一人で悩みを抱えている方に、前向きな気持を持っていただけるような心のケアを行います。近年では2022年3月と2023年3月にそれぞれ3回、実施しました。</p> <p>精神対話士は1993年に、慶應義塾大学医学部出身の医師たちが立ち上げた資格制度です。その資格は、メンタルケア協会が主催する「メンタルケア・スペシャリスト養成講座」基礎課程と実践課程を受講・修了後、選考試験（小論文、集団面接、個人面接）に合格することによって取得できるものです。</p> <p>事業の趣旨と概要： ○年齢・性別を問わず、病気や生活、仕事、人生や家族、人間関係、学校や家族や友達のこと、勉強や進路のことなどの悩みを一歩先の解決に向けて一緒に考えます。 ○守秘義務厳守 ○商品の営業、宗教の勧誘などをするとは一切ありません。 ○事前予約制。ただし、当日空があれば予約なしでも受け付けます。</p>
都2	学生団体GEIL	50	<p>●事業名：学生のための政策立案コンテストの企画運営</p> <p>「学生のための政策立案コンテスト」は1999年第1回を開催し、毎年8月、9月の1週間～10日間の合宿形式で政策形成チャレンジを泊まり込みで行うもので、参加者は全国各地の大学・大学院から課題テーマの論文審査で選ばれた学生100名前後で編成されます。選ばれた学生には、社会課題の把握、政策立案の面白さ、社会課題の複雑さと現状を学び、政策により何を解決したいのかを考察し、政策形成にチャレンジします。社会課題解決へのアプローチの中で喧々諤々議論できる仲間との出会い、サポートいただく教員が実際に政策形成に奮闘される方々との議論、課題解決にまさに現場で奔走される方々との出会いと学びが大学で学べぬ現実社会の現象の背景を学ぶ貴重な「場」でもあります。</p> <p>GEILは1年間かけて当事業を開催・運営しております。GEIL運営メンバーはほ12年生のみであり、4月の終わりに入会し、次年の9月に引退するという任期1年半で25年間活動して参りました。1年間の政策テーマに選ばれた社会問題の勉強はもちろん、「学生のための政策立案コンテスト」の円滑な運営を行うための事前準備や、活動内容を発信し、参加者を集める広報活動など多様な活動を通じて、多くの学びを得ています。</p> <p>GEILの活動、および当事業は、GEIL内部者のみならず、コンテスト参加の学生をも巻き込み「未来構築の人材育成」の機能も存分に果たしてきました。</p> <p>2024年夏に行う予定であります26回目のコンテストでも歴代のコンテスト同様、団体理念である「政策を通じて人と社会を変える」を体現したいと考えております。</p>
都3	LINQUIRE（リンキュア）	50	<p>●事業名：シングルマザー支援事業</p> <p>LINQUIRE（リンキュア）は、杉並区やその他の地域のシングルマザーがコミュニケーション、交流を深め、福祉、防災など地域情報の提供や交換の場を設けています。</p> <p>(1) シングルマザー向けの対面やオンラインでの交流会の実施。情報の発信。 (2) シングルマザー家庭の子ども同士の交流、尊を行い、シングルマザー同士が応援しあい高め合環境を作ること。</p> <p>特にコロナもあり、地域との接点があがります希薄化している中で、シングルマザーが頼れる場所が少なくなっているため、オンラインはもちろんですが、今後は対面での関わりも大切に活動を広げていく予定です。</p>
都4	Musub.i.me	29.4	<p>●事業名：Musub.i.me</p> <p>現在は月に2～3回、大田区の施設、水神公園兼倉庫（南雪谷5-10-14）をお借りして開催しています。まず地域に定着するためには最低限、週に1～2回の開催を目指しております。現在会場費は団体で負担しております。不登校児童の中には起立性調節障害という朝の時間に体調不良を起こしてしまうお子さんもおります。現在、午前中みの開催ですが午後の時間も開設することの必要性も感じております。助成金を受給することが出来たら施設使用料にあて週に1回以上の開催をし地域に定着させ不登校児童にとって居場所としての選択肢を増やしていきたいと思っております。子ども食堂の協力以外にもハンドメイド作家の方が参加し工作を教えてください、ボランティアとして地域の方が参加して下さったり区議会議員の方々も現状を知っていただくために見学していただき地域の方にもご協力いただいております。今後も地域の方と一緒に子どもたちの安心安全な居場所を作っていきたいと思っております。私たちの考えは<学校へ行かなくていい>と思っているわけではなく社会勉強、経験値を高める、たくさんの人と交わる上で学校に行けるのであれば行くことが最善ではあると思っております。しかし、学校へ復学することを目標にはしていません。一定数、壊れそうな心を抱えながら学校へ必死に行く児童、また学校へ行けず家族としかコミュニケーションがとれない児童がいる現状です。学校へ行けなかったらそれで終わりではなく学校へ行けなかったけどMusub.i.meへ行き人と触れ合うということが大切なことだと思います。一人にさせない環境が何よりも大切です。その子、その子に合った関わりを少数の中で丁寧な関わりをし、児童1人1人が自分らしくいられる居場所としての確立が私たちの目標です。Musub.i.meの由来は誰かと誰かを繋ぐ。（人との関わり）何かと何かを繋ぐ。（学校との連携や教育センターとの情報共有）をする結び目の役割を果たしたいという思いがあります。そのためには現状より回数を増やし定着させたいのですが現状団体の負担ですので継続していくことを考えると難しい状況ですでお力をお借りしたく申請させていただきました。</p>

番号	団体名	申請額 (万円)	事業名と事業概要 (応募用紙から)
都5	みたかこどもアドボカシー	50	<p>●事業名：こころとからだの教室</p> <p>【活動の趣旨】現在の子どもの心を取り巻く状況は5つの要素 ①自分：ひきこもり、不登校、障害、希死念慮など ②家庭：ヤングケアラー、虐待、貧困、ひとり親、国籍など ③学校いじめ、人間関係、恋愛、成績、休職、性暴力など ④地域 ⑤SNS が絡みあっている。これらの課題解決に取り組むため、自他ともに尊重される関係性を獲得すること、自他のウェルビーイングに自分の選択がどう影響するか考えること、生涯を通じてすべての人の権利が守られると理解できる「包括的教育」を通じてウェルビーイングの実現を目指す。また、「子どもの権利条約」にあるように、すべての子どもの権利を包括的に規定し、障害児や代替養育を受けている子どもなど不利益な立場の子どもの権利保障も求めている。</p> <p>【活動の概要】概ね月1回子どもとその保護者を対象に「包括的教育」を学ぶ場の提供を実施する。ワークショップ形式で行い、発言したい子もしたくない子も誰もが尊重される雰囲気、登壇の会場で、障害のある子どももリラックスした姿勢で参加することができるようにする。イラストを多く使ったワークシートや、フェイススケールを使うことで字が読めない子も参加できるようにする。途中、アメリカが使われている性教育動画（日本語訳したもの）も取り入れる。</p>
都6	Mix/SDG	50	<p>●事業名：フードバンク拡大によるスタートアップ時の運営費の補助</p> <p>当団体は、無償ボランティアとして新しい形のフードバンクを行っています。今年度は10万円の補助金を受けておりますが、人件費や交通費、食材の倉庫もメンバー内で自己負担してまいりましたが物量が常時200箱近い在庫量となり、配布箇所も1か月で延べ30か所以上となったため、わたくし個人が中古物件を1件購入し爽子として利用することにしました。これに伴い自己所有の建物ができたため、フードバンクとしての光熱費や諸費用が低規定に掛かり、固定費維持が必要になりました。そのため、立ち上げ時の規模拡大に伴う費用に充てたいと思っております。また、ボランティア保険には加入していなかったため、団体メンバーとお手伝いしてくれるボランティアの保険、今予定です。まで自己負担であったメンバーの交通費、配送費も一部削減予定です。</p>
都7	23区南生活クラブ生活協同組合松葉のダイオキシシン調査2024・11実行委員会	50	<p>●事業名：松葉のダイオキシシン調査2024・11</p> <p>空気中に含まれるダイオキシシン類をはじめとした化学物質の濃度を調査し、その原因の一つと考えられる清掃工場の排気ガスの危険性を周知させることで、多くの人たちがごみを減らす意識を持つことにつながり、地域の空気をきれいにします。</p> <p>手法：大気中のダイオキシシン類や重金属類、未規制有害化学物質の濃度を調べ、市民ひとりひとりで採取したクロマトの葉に蓄積した量を、環境指標として国際的に確立した方法で測る。</p>